

ハピふるプロジェクト

「市内ふれあい・いきいきサロン」や「大学内コミュニティカフェ」、「伊勢市社会福祉協議会サテライト」などの企画、運営、補助などを行います。また、ララパーク2階にある、げんこころ一むをより多くの人に利用していただくために、どのようにPRしていけば良いのかということも考えています。

TEAM DATA メンバー数：3名
活動場所：伊勢市
実施主体：社会福祉法人
伊勢市社会福祉協議会
担当教員：大井 智香子（現代日本社会学部）
活動年度：R02



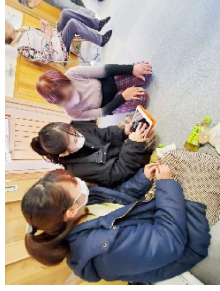
月別活動

(9月) ミーティング

(10月) げんこころ一む見学、
ミーティング

(11月) ミーティング

(12月) 地域サロン紹介動画の撮影、
ミーティング



活動を通して学んだこと

学んだことは伊勢市社協の取り組みについて深く調べ、地域にあるサロンなど多くの活動が行われていることを知りました。げんこころ一むに人を呼び込むための案などミーティングを通して話し合いなど今後学習すべきことを学ぶことができました。

実施主体からのコメント

社会福祉法人
伊勢市社会福祉協議会
ご担当者様

コロナ感染拡大防止により地域活動への企画が過半はなくなってしまい、非常に残念です。来年度、ハピふる企画を学生さんと協働できるとを期待します。その際は引き続きご協力をお願いいたします。

担当教員より

現代日本社会学部 大井 智香子

COVID-19の流行の影響により、活動内容を大幅に縮小して秋学期からの活動スタートとなりました。多くの制約のなか、主体的に活動に取り組んでくださいました。伊勢市社協の職員の方たち、市民のみならずとも積極的にコミュニケーションを図って活動に取り組み姿をととても頼もしく感じています。

活動拠点のひとつである「げんこころ一む」も伊勢市内各所の地域サロンも感染防止対策に配慮しながらの運営となり、それぞれに多彩な知恵と工夫で乗り切る実践に出合ったことと思います。今年度得たこと、そして、やりたかったけれどできなかったことを、ぜひこれから活動につなげてほしいと思います。

1年の活動まとめ・考察（成果と課題）

この「ハピふるプロジェクト」は、課題としてイオンタウン伊勢ララパーク店の2階にあるげんこころ一むの活用として若い世代(学生等)に活用していただく仕組みづくりや、伊勢市社協地域福祉事業の啓発画作成としてふれあいいきいきサロン活動等を取り上げ活動していく取り組みである。今回は、コロナの影響がありこの「ハピふるプロジェクト」は、秋学期から活動開始となった。そのため、事業的に今年度は途中段階で終わってしまった。

しかし、少ない期間である中、10月には実際にげんこころ一むの見学をし、ミーティングを通して伊勢市社協様との話のもと意見交換をし、見えてくるありとあらゆる課題があったのではと感じる。また、12月の地域サロン紹介動画の撮影では、学生目線でサロンを撮影する目的の中全員が集まれない日がなく別々で2つのサロンを撮影させていた。それからの活動は、また、コロナの関係で活動停止になったため、最後のミーティングのさい企画書を伊勢市社協様より頂き今年度中に作成するという課題を頂いて終わりとなった。

上に記載させていただいたとおり、今年度の「ハピふるプロジェクト」は、途中段階で終わってしまったため成果という成果はない。

今後の課題としては、ミーティングにしても撮影にも伊勢市社協様に頼ること、甘えていかころも多かったと感じるため、そこは直していかなくてはならないと感じた。また、撮影に關しては、取り組んだものの内容を具体的に聞いていない状態での撮影だったため中身がしっかりした物ではなかったと感じる。そのため内容をしっかりと聞いてから望むことが大切だと感じた。

来年度の話し合いでは、げんこころ一むの活用に關しては、今年度に頂いた企画書の提案を元に話し合いが行われるのではないかと感じる。そして、撮影に關しては、今年度より幅広く撮影が行えるようになるのではと思う。



成果物 / 制作物